

事業所団体調査(社団法人全国老人保健施設協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他
(社)全国老人保健施設協会	職員基礎研修会	会員施設職員(実務経験2年未満)	介護老人保健施設の理念を中心に職員として必須の基礎的知識の習得を目的に実施。	4回	4カ所	10時間45分	817人	10,500円	10,212,423円	-
	中堅職員研修	会員施設職員(実務経験5年程度)	介護老人保健施設における中堅クラスの職員としてのスキルアップを目的に講義形式とグループワーク形式にて実施。	4回	4カ所	11時間45分	588人	21,000円	11,744,532円	-
	ケアマネジメント実践講座	会員施設職員	介護老人保健施設職員がケアマネジメントの一環として高齢者ケアプランの意義と役割を理解し、施設サービス計画の策定と評価に必要な視点・知識・技術の習得のために実施。	1回	1カ所	7時間15分(2日)	167人	21,000円	2,798,743円	-
	リハビリテーション研修会	会員施設職員	介護老人保健施設におけるリハビリテーションについて平成21年度介護報酬改定関係の最新情報や実務者として必要な知識を習得することを目的に実施。	1回	1カ所	10時間35分(2日)	135人	21,000円	2,408,505円	-
	施設内感染症防止対策指導者養成研修会	会員施設職員	施設内における感染症の集団発生防止について必要な知識を習得し、施設における万全な体制を整備すること等を目的に実施。	1回	1カ所	12時間5分(2日)	145人	21,000円	3,098,483円	-
	通所リハビリテーション研修会	会員施設職員	介護老人保健施設併設の通所リハビリテーションにおいて、在宅生活を支援するための役割や連携等について理解を深めるために実施。	1回	1カ所	4時間35分(1日)	289人	10,500円	1,786,347円	-
	認知症高齢者ケア研修会	会員施設職員	認知症高齢者に対するケア、リハビリテーションについて理解を深めるために実施。	1回	1カ所	9時間45分(2日)	112人	21,000円	2,484,293円	-
	平成21年4月介護報酬改定『リハビリテーション研修会』	会員施設職員	平成21年4月介護報酬改定後の介護老人保健施設のリハビリテーションについて理解を深めることを目的に実施。	1回	1カ所	5時間30分(1日)	388人	12,600円	3,109,509円	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 高齢者ケアプラン策定実践講座	会員施設職員	ケアプランの作成・評価技術の習得のために実施。	1回	1カ所	4時間45分(1日)	182人	10,500円	-	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 摂食・嚥下・栄養	会員施設職員	摂食・嚥下障害への対応と栄養ケア・マネジメント技術の習得のために実施。	1回	1カ所	4時間45分(1日)	179人	10,500円	-	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 リハビリテーション	会員施設職員	介護老人保健施設のリハビリテーションについてテーマごとに学ぶために実施。	1回	1カ所	4時間40分(1日)	233人	10,500円	-	-
	第20回全国介護老人保健施設大会 新潟 現場での認知症ケア	会員施設職員	認知症高齢者がその人らしく暮らせるためのトータルケアを学ぶために実施。	1回	1カ所	4時間45分(2日)	147人	10,500円	-	-
	実地研修 Aコース(基礎実技習得コース)	会員施設職員(老健勤務1年以上の者を対象)	介護老人保健施設の理念と役割、支援相談、入所判定、ケアプラン、認知症高齢者ケア、リスクマネジメント、感染症、栄養・食事・口腔ケア等についての講義及び看介護、入浴、レクリエーション、リハビリテーション等の実技習得	83回	実地研修指定47施設にて	3日	492人	9,450円	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース)在宅復帰・在宅支援	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	在宅復帰・在宅支援について(実地研修指定施設にて設定)	12回	実地研修指定6施設にて	3日～5日	58人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコース(専門実技習得コース)リハビリテーション	会員施設職員(老健勤務2年以上の者を対象)	リハビリテーションについて(実地研修指定施設にて設定)	22回	実地研修指定14施設にて	2日～3日	71人	3,150円/日	-	-

事業所団体調査(社団法人全国老人保健施設協会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間 実施回数	5 実施 力所数	6 時間数 (期間)	7 年間 受講者数	8 費用(1 人当たり)	8 費用 (総事業)	9 その 他
(社)全国 老人保健 施設協会	実地研修 Bコー ス(専門実技習得 コース) 認知症	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	認知症について(実地研修指定施設にて設定)	12回	実地研修 指定8施 設にて	1日~5日	76人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコー ス(専門実技習得 コース) 摂食・嚥 下(口腔ケア)	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	摂食・嚥下(口腔ケア)について(実地研修指定施設にて認定)	6回	実地研修 指定4施 設にて	1日~3日	34人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコー ス(専門実技習得 コース) 栄養ケ ア・マネジメント	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	栄養ケア・マネジメントについて(実地研修指定施設にて設定)	11回	実地研修 指定7施 設にて	2日~5日	47人	3,150円/日	-	-
	実地研修 Bコー ス(専門実技習得 コース) リスクマ ネジメント	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	リスクマネジメントについて(実地研修指定施設にて設定)	14回	実地研修 指定8施 設にて	1日~3日	102人	3,150円/日	-	-
	実地研修Bコー ス(専門実技習得 コース) ユニット ケア	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	ユニットケアについて(実地研修指定施設にて設定)	5回	実地研修 指定3施 設にて	3日	23人	3,150円/日	-	-
	実地研修Bコー ス(専門実技習得 コース) 相談業務	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	相談業務について(実地研修指定施設にて設定)	3回	実地研修 指定3施 設にて	2日~3日	12人	3,150円	-	-
	実地研修Bコー ス(専門実技習得 コース) 全職員に よる施設運営(M ST活動)	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	全職員による施設運営(MST活動)について(実地研修指定施 設にて設定)	1回	実地研修 指定1施 設にて	2日	11人	3,150円/日	-	-
	実地研修Bコー ス(専門実技習得 コース) 終末期ケ ア(ターミナルケ ア)	会員施設職員(老健勤務2年 以上の者を対象)	終末期ケア(ターミナルケア)について(実地研修指定施設にて設定)	5回	実地研修 指定2施 設にて	1日~2日	28人	3,150円/日	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 ・介護事業全体の人手不足等により、施設においても人員等の理由により参加し難い状況がある。そのような状況であっても施設職員にいかに関係会に参加してもらい、サービスの質の向上に努めてもらうことができるかが課題。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ・会員施設への一斉同報による案内後、各都道府県支部へ県内施設に対する周知を依頼している。 ・参加者に対する事後アンケートを参考に次年度のカリキュラムの見直し、講師の選定を行いニーズに沿った内容によることを研修委員会にて検討。 ・基幹である職員基礎研修会、中堅職員研修会は年度内に複数回、複数県にて開催し、より多くの職員が参加できるようにしている。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 ・ケアの質の向上のため、研修に参加することに対するインセンティブ ・限られた人員の中で運営している施設が職員に参加させるために人員の調整を行っていることに対する担保 ・キャリア開発教育システム
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業者団体調査(全国社会福祉施設経営者協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
全国社会福祉施設経営者協議会	介護保険事業経営セミナー	介護事業を実施する会 員法人の役・職員	毎年、制度改革等の動向に応じてテーマを設定。【21年度実績:3回】 ①「介護職員キャリアアップセミナー」 ～介護職員処遇改善交付金への対応と、専門性を高める人事制度の構築について～ ②「木造福祉施設セミナー」 ～建設コスト削減・工期短縮で、知己のニーズに素早く対応した施設展開へ～ ③「高齢者住宅への取組みと介護サービスの融合を考える」 ～社会福祉法人が蓄積したノウハウをもって、法改正に伴う新たな介護事業経営の展開へ～	3回	1回につき1カ所	3回合計で、13.5時間(3日)	1,342人	12,500円～15,000円	17,584,000円	-
	社会福祉法人経営者講座	役員(理事、監事等)、 施設長、事務長等	社会福祉法人経営の能力向上 これからの社会福祉法人には、地域社会との信頼関係を築き、社会・地域における福祉の発展充実に貢献することが共通課題である。 本講座は、社会・地域からの期待に応え続けられる、安定的、継続的、発展的な事業経営を可能とする能力が習得できるよう、幅広いプログラムにより構成。 ・福祉経営総論・サービス管理・財務管理・リスクマネジメント・人事管理・労務管理・事業分野別毎の経営実践事例研究(介護・障害・保育)	1回	1カ所	33時間(前期:3日、後期:3日間)	200人	85,000円	18,394,000円	-
	社会福祉法人主任/係長講座 =5～15人のグループリーダーに求められるもの=	職員(グループリーダー・主任・係長等) ※法人・施設内の5～15名程のグループやチームリーダー層を想定	①チームを効果的に統率するために必要なリーダーシップと、その実践のためのコミュニケーション方法について学ぶ ②組織のリーダー層に必要な、伝える力とマネジメント力を学ぶ ③社会福祉法人の経営環境に鑑み、取り組むべき事項や視点を理解する。 参考:平成21年度における講義 ・「これからの社会福祉法人と主任/係長職への期待」 ～諸制度の動向と、現場業務を進める際に留意すべきポイント ・成長と自立を促す対話型コミュニケーション ～先輩(上司)と後輩(部下)の関係性に豊かな価値を～ ・「組織活性化のためのチームコミュニケーション～現場リーダーに求められる新たなリーダーシップ」,「伝える力・伝わる話し方とマネジメント力」	1回	1カ所	14.5時間(2日)	250人	25,000円	6,300,000円	-
	コーチングトレーニング講座	職場における中間層(リーダー・主任・係長等)クラス	○コミュニケーション活性化による、職員満足度・サービスの質・利用者満足度の3つの向上を目的とした「コーチングのトレーニング」。 ○ほとんどの時間が実演、実習。エクササイズ・ロールプレイを通じて、コーチングを体感。	3回	1回につき1カ所	9.5時間	1回につき50人(3回150人)	28,000円	4,200,000円	-
	リスクマネジャー養成講座 (初級編および上級編)		福祉施設におけるリスクマネジメントの仕組み・体制づくりを、「利用者の安心と安全を実現する適切なサービス提供を実現することで、サービスの質を向上させ、利用者満足度をあげる取り組み」と定義し、安心・安全なサービス提供プロセスにおいて中心的な役割を担う「リスクマネジャー」を養成。 初級編と上級編を開催。	初級編1回、上級編1回	初級編1カ所、上級編1カ所	初級編37時間(前期:3日間、後期:3日間) 上級編12時間(2日間)	初級編200人、上級編80人	初級 68,000円 上級 45,000円	17,550,000円	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 ○時勢に合ったテーマの設定 ○受講者ニーズに沿った講師の選定 ○適切な研修環境の確保 ○実施費用と参加費の設定	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ○介護職員に必要な時勢に合ったテーマを設定。 ○年間の研修実施日程を年度当初にまとめて提示するとともに、研修会の具体的内容を示す開催要項を開催2ヶ月前程度に公表することで、施設における勤務形態等への影響を最小限にとどめる。 ○遠方からの参加に配慮し、開催時間は午後1時、最終日の終了時間は15時に設定し、参加費が効率的な日程で参加できるよう配慮。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 ○参加費用への補助 ○参加時の旅費、宿泊費等への補助 ○研修参加者の代替施設職員のための人件費等への補助
------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業者団体調査(公益社団法人全国老人福祉施設協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数(受講者数)	8 費用(1人当たり(総事業費))	9 その他	
公益社団法人全国老人福祉施設協議会	平成21年度栄養ケア・マネジメント研修会	施設長、管理栄養士、介護・看護リーダー等	講義Ⅰ「平成21年度介護報酬改定を受けて」 講義Ⅱ「報酬改定に伴う栄養ケア・マネジメントの課題と対応」 講義Ⅲ「カムウェル料理で施設ケアの全てが変わる」 講義Ⅳ「口腔ケアと栄養ケア・マネジメント」 講義Ⅴ「対応困難事例のマネジメント」 講義Ⅵ「他職種共同の在り方について」	2回	2カ所	9.5時間(2日)	643人	会員 12,000円 非会員 20,000円	8,355,128円	-
	平成21年度介護職専門研修会	施設の介護職員その他	講義Ⅰ 介護学を拓く 講義Ⅱ 介護学を拓く(実践発表) 講義Ⅲ 口腔ケア 講義Ⅳ 介護職に必要な医学的知識とフィジカルアセスメント	2回	2カ所	10.5時間(2日)	679人	会員 12,000円 非会員 20,000円	8,804,045円	-
	第6期(平成21年度)介護力向上講習会	①施設として自立支援介護、個別ケアの質向上に意欲があること ②参加職員は、施設におけるリーダー的立場に就くことを期待されていること ③特別養護老人ホームの職員であること	講義:①介護の現状と今後の課題(主に施設長向け)、②身体介護・自立支援基礎理論、③パワリハビリテーションの理論と介護 事例:要介護4の歩行改善、排泄自立、認知症のタイプ判定トレーニング、認知症-身体不調型、葛藤型、環境不適応型へのケアと経過、知的衰退型、遊離型、回帰型のケアと経過等	6回	1カ所	57時間(12日) ※1回あたり9.5時間(2日)	108施設 148人	年間100,000円	13,825,168円	-
	介護力向上講習会フォローアップ研修会	介護力向上研修会 第1期(平成16年度)～第6期(平成21年度)の参加経験のある北海道・東北ブロックの施設長及び職員等	I 開会挨拶 II 講師挨拶 III 実践発表 IV 意見交換・質疑応答 V まとめ	1回	1カ所	2.5時間(1日)	46人	2,000円	392,580円	-
	平成21年度認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	介護保険法第8条第22項に規定する介護保険施設又は介護保険法第41条に規定する指定居宅サービス事業者及び介護保険法第42条の2に規定する指定地域密着サービス事業者等において介護業務に概ね5年以上従事した経験を有している者であって、実践者研修を修了し1年以上経過している者とする。	○認知症介護の理念 ○認知症介護のための組織論 ○人材育成のための技法 ○チームケアのための事例演習 ○実習課題設定	12回	12カ所	全国老協標準カリキュラム ・講義・演習 42時間(6日) ・他施設実習(3日) ・自施設実習(4週間) ・実習報告とまとめ(1日)	315人	会員 10,000円 非会員 30,000円	18,433,568円	-
	平成21年度認知症介護実践研修(実践者研修)	概ね2年程度認知症介護業務があり、現在も従事する者で、身体介護に関する基本的知識・技能を習得しており、次の①又は②の要件に該当した上で③の要件を満たす者 ①介護保険施設等に従事する介護職員等 ②認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型デイサービスの計画作成担当者 ③介護保険施設・事業所等に従事する介護・看護職員等であって、介護福祉士あるいは同等以上の能力を有する方	○認知症介護実践研修のねらい ○新しい認知症介護の理念の構築 ○研修の自己課題の設定 ○医学的理解 ○心理的理解 ○生活の捉え方 ○生活の質の保障とリスクマネジメント ○認知症の人の理解に基づく生活のアセスメント ○人的環境、住居環境を考える ○地域社会環境を考える ○生活支援の方法 ○家族の理解・高齢者との関係 ○認知症の人の権利擁護 等	3回	3カ所	・講義・演習 37.5時間(5日) ・他施設実習(1日) ・自施設実習(4週間) ・実習報告とまとめ(1日)	141人	会員 60,000円 非会員 20,000円	8,355,128円	-
	ユニットリーダー研修会	ユニットケアを実施している施設に勤務する職員 ユニットケア実施を予定している施設に勤務する職員	○ユニットケアの理念と意義 ○ユニットケア導入の過程 ○高齢者の生活とその環境 ○ユニットケアの具体的方法 ○情報の活用を職員のサポート ○ユニットケア導入・運営計画演習 等	1回	2カ所	講義・演習3日 実地・研修5日	43人	100,000円	6,218,640円	-
	介護基盤整備3年戦略セミナー	法人役員、施設長、次長、総務、会計、介護保険請求担当者、介護現場責任者	基調講演 講義Ⅰ「介護職員処遇改善交付金・施設整備助成等の解説、H21介護報酬改定の解説」 講義Ⅱ「平成21年度介護報酬改定を読み解くためのポイント」	1回	42カ所	3時間(1日)	8,380人	0円	23,933,478円	-
	通所介護サービス向上力研修会	デイサービスセンターで動くリーダー的立場の職員	講演Ⅰ 行政報告「通所介護の介護報酬改定と今後の課題」 講演Ⅱ 「研修のねらいとデイサービスの役割」 講演Ⅲ 「通所介護計画の位置づけ」 講演Ⅳ 「効果的な通所介護計画書の作成」 グループワーク I 事例検討「計画書の作成」II 「実行表の記入から評価までのプロセス」	1回	2カ所 仙台市 / 広島県	8.7時間(2日)	620人	会員 12,000円 非会員 20,000円	10,002,439円	-
	個別ケアセミナー	施設・事業所に勤務する管理者および職員等	○行政説明「個別ケアの理念と意義 尊厳ある生活を支える」 ○講演・シンポジウム「個別ケア実践に向けて」 ○グループワーク「個別ケアと施設運営」「個別ケアのハードづくり」「個別ケアのくらし」○ユニットリーダー研修会のフォローアップ	1回	1カ所 千葉県	8時間(2日)	328人	会員 12,000円 非会員 20,000円	4,303,429円	-
地域ケアセミナー	施設・事業所に勤務する管理者および職員等	講演Ⅰ「地域包括ケアの課題と在宅サービスの今後の期待」 講演Ⅱ「在宅の重度化と在宅ケアの課題」 グループワーク「地域ケアシステム」におけるデイサービスの役割、「短期入所系サービスの連携のあり方」在宅サービスを支える人材づくり	1回	1カ所 東京都	7時間(2日)	233人	会員 12,000円 非会員 20,000円	5,526,639円	-	
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。			質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。			質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。				
<ul style="list-style-type: none"> ・全国の施設・事業所を対象に実施するため、回数、受講人数、研修手法に限界がある。 ※東西に会場を実施の場合、数百人規模になるため、グループワーク等が物理的に困難である等 ・年間を通して研修計画を作成しているが、緊急性及び必要度が高いテーマについては随時企画実施するため、受講施設の年間計画が立てにくい。 ・受講者が習得した技術や知識を自施設へ持ち帰って伝達、展開する土壌づくりが必要。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにより広く一般への募集を行うと共に、会員施設に対しては対象となる全施設・事業所に郵送による開催要綱の送付を行うとともに、メールニュースなどで繰り返し案内を行う。 ・介護職を対象とした職種別研修のほかにも多職種が横断的に受講可能なテーマ別研修の企画、実施を拡大している。 ・研修会場を交通アクセス重視で選定するほか、開始時間、終了時間に配慮し、宿泊の必要を最小限に抑えている。 ・実施後、機関誌等により、研修内容の周知を行うと共に、参加を促す。 			<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な研修への参加をすすめるためにも各施設の特色に合わせた人材育成のシステム及びキャリアパス構築に対する意識の向上が必須。 ・外部研修への参加の機会の拡大と併せて、施設内研修、OJT等の体制を強化することによって、より高い研修効果を得られると考えられる。 				

事業者団体調査(NPO法人介護人材キャリア開発機構)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
NPO法人介護人材キャリア開発機構	介護福祉士ファーストステップ研修	近畿老人福祉施設協議会6府県3指定都市加入施設(約1,100施設)職員	介護福祉士ファーストステップ研修「チーム連携領域」「チーム運営管理領域」	1回	1カ所	集合研修64時間(8日) 自職場課題64時間	37人 (延べ284人)	52,000円 (教材費込み)	1,190,552円	平成20年度介護福祉士ファーストステップ研修「個別ケア領域」の継続研修としての実施
	介護福祉士ファーストステップ研修 講師養成研修	近畿老人福祉施設協議会6府県3指定都市各府県市協議会推薦の講師候補者	介護福祉士ファーストステップ研修を各県で実施するために、現場の介護職を講師として養成することを目的とする。講義と演習の進め方について研修を実施し、近畿老人福祉施設協議会で20名講師を養成した。	1回	1カ所	集合研修80時間(9日) 講義・模擬演習評価指導(3日)	20人 (延べ159人)	20,000円 (一部5,000円)	ファーストステップ研修と一体的に事業実施	介護福祉士ファーストステップ研修(8日間)と連動して実施し研修終了後、毎回1時間の講義・演習の進め方について指導。
	介護福祉士ファーストステップ研修	青森県老人福祉施設協議会加入施設(約130施設)職員	介護福祉士ファーストステップ研修「個別ケア領域」「チーム連携領域」「チーム運営管理領域」	1回	1カ所	集合研修120時間(15日) 自職場課題100時間	40人 (延べ560人)	60,000円 (教材費込み)	-	青森県老協主催の研修について、当法人のカリキュラム・研修手法の提供及びスタッフ派遣による研修運営協力。

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
①経験豊かな現場の職員を講師として養成すること。 ②終日研修に適した、通いやすい会場の確保。 ③研修費の負担軽減の課題(個人参加を可能とすること。) ④全科目を通して一貫して「全人的理解」「尊厳の保持」「人間関係の構築」などのケアの理念を反映した統一性のあるカリキュラムと研修内容の維持 ⑤④のための一貫した教材の準備	①現場の勤務調整に負担のないように開催頻度を月に2日までとし、連続や集中開催を回避 ②職員の研修及び研修に係る経費(参加費、交通費)負担に対して、事業者の協力を求めている ③地域の事業者団体において共通の認定研修を設定すること、さらに、当該研修を各自治体に対して一定の制度研修として認定することを働きかけている ④参加しやすい会場の確保や中核施設の活用	①所属事業所における参加しやすい環境、勤務の調整などの理解 ②参加しやすい開催頻度や日程、研修費用に対する補助 ③介護職員のキャリアパスと必要な研修等の明示化 ④介護職員のキャリア形成にとって魅力ある演習方法や内容 ⑤介護福祉士にとって、スキルを高めることが魅力あるものとする環境整備(処遇、社会的認識など) ⑥派遣元法人に対してキャリアに応じた一定の研修派遣を法定上の義務とすること

事業者団体調査(公益社団法人日本認知症グループホーム協会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	9 その他	
公益社団法人日本認知症グループホーム協会	認知症介護実践研修(実践者)	介護保険施設等に従事する介護職員等であって、介護に関する基本的知識、技術を習得としており、1年以上認知症介護に従事した経験を有する者。	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を修得するための研修。 認知症の人の尊厳ある生活を支援するために、理念に基づいた実践的な知識と技術を身につける。	3回	3カ所	講義・演習 5日 外部実習 1日 職場実習 20日 まどめの体験提出	149人	会員 30,000円 非会員 60,000円	-	「認知症介護実践者等養成事業の実施について」及び「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」に準拠し実施
	認知症介護実践研修(リーダー研修)	介護保険施設等に従事する介護職員等であって、介護に関する基本的知識、技術を習得としており、5年以上認知症介護に従事した経験を有し、実践者研修を修了して1年以上経過している者。	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を修得するための研修。 実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、介護保険施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成する。	1回	1カ所	講義・演習 7日 外部実習 3日 職場実習 20日 まとめ 1日	23人	会員 50,000円 非会員 90,000円	-	「認知症介護実践者等養成事業の実施について」及び「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」に準拠し実施
	認知症対応型サービス事業者管理者研修	介護保険施設等に従事する介護職員等であって、介護に関する基本的知識、技術を習得としており、3年以上認知症介護に従事した経験を有し、実践者研修を修了し、認知症対応型共同生活介護事業所、認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所で管理者となる者。	認知症対応型共同生活介護事業所、認知症対応型通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所を管理・運営していくために必要な知識及び技術を修得する。	3回	3カ所	講義・演習 2日	95人	会員 15,000円 非会員 50,000円	-	「認知症介護実践者等養成事業の実施について」及び「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」に準拠し実施

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<p>認知症介護実践研修(実践者)は昨年度、32都道府県と8都市の当該研修の修了認定を受けた。会員は全国に存在するので、全ての都道府県等の修了認定を受けることが今後の課題である。認知症介護指導者の質の差が大きい。認知症介護実践研修(リーダー研修)は昨年度、25都道府県と8都市の当該研修の修了認定を受けた。会員は全国に存在するので、全ての都道府県等の修了認定を受けることが今後の課題である。認知症介護指導者の質の差が大きい。</p> <p>認知症対応型サービス事業者管理者研修は昨年度、30都道府県と9都市の当該研修の修了認定を受けた。会員は全国に存在するので、全ての都道府県等の修了認定を受けることが今後の課題である。</p>	<p>認知症介護実践研修(実践者)は、研修期間が長いこと、職場を離れる期間も長くなる。そのため、参加者、法人にとっては負担が大きい。その軽減のため、研修開催会場を考慮している。H21年度 東京2回 北海道1回 H20年度 愛媛、青森、新潟、愛知 各1回実施</p> <p>認知症介護実践研修(リーダー研修)は、研修期間が長いこと、職場を離れる期間も長くなる。そのため、参加者、法人にとっては負担が大きい。その軽減のため、研修開催会場、日程を考慮している。研修会場 北海道 1回 日程 講義・演習 7日間(一日の講義時間を長く設定した)開催地の検討、日程の検討を行っている。</p>	<p>認知症介護実践研修(実践者)は、基準省令にも定められている研修である。質問2の回答にあるように、当協会の会員は全国に存在する。そのためにも、全ての都道府県等の修了認定を受けることができればより一層、介護職員が参加するのではないかと考える。このために都道府県等への働きかけが必要である。講師の質の差を是正する必要がある。講師によって、受講した結果、自信、モチベーション等が下がる場合がある。一日のレビュー、振り返り、アンケート等の結果を可能な限り反映させるようにしている。</p> <p>認知症介護実践研修(リーダー研修)は、加算要件の対象となる研修である。質問2の回答にあるように、当協会の会員は全国に存在する。そのためにも、全ての都道府県等の修了認定を受けることができればより一層、介護職員が参加するのではないかと考える。このために都道府県等への働きかけが必要である。講師の質の差を是正する必要がある。講師によって、受講した結果、自信、モチベーション等が下がる場合がある。一日のレビュー、振り返り、アンケート等の結果を可能な限り反映させるようにしている。</p> <p>認知症対応型サービス事業者管理者研修は、加算要件の対象となる研修である。質問2の回答にあるように、当協会の会員は全国に存在する。そのためにも、全ての都道府県等の修了認定を受けることができればより一層、介護職員が参加するのではないかと考える。このために都道府県等への働きかけが必要である。</p>

事業者団体調査(市民福祉団体全国協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
NPO法人 市民福祉 団体全国 協議会	第14回トップマネジメントセミナー (地域福祉の再構築に向けて)	たすけあい活動NPO法人関係者、介護事業関係者など、その他どなたでも(主に会員団体のトップマネジメント)	1日目 【基調講演】地域の福祉を守る 【政策解説】「市町村地域包括ケア推進事業の実施」について <パネルディスカッション> 地域包括ケアを担うインフォーマル・サービス 2日目 【講演】「日本の社会保障制度」に関する考察	1回	1カ所	5.5時間	80人	7,000円	4,505,000円	-
	高齢者の住宅問題を考える	会員団体の職員を含めてすべて(一般参加も可)	基調講演: 高齢者の住まいに関わる関連施設の動向 パネルディスカッション: 高齢者の住宅問題を考える	1回	1カ所	2時間(1日)	70人	0円	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	保険者の見解(ケアマネジャーとのやり取りや、プランを通じて)に疑問をもっている介護職員が多数おられるので、中央官庁スタッフとの直接の意見交換の場を設定できるようにテーマを設定している。 現場では解決困難な問題に対処するための機会提供が必要と考えている。	全国各地での開催が必要だと考えるが、開催費用の捻出が困難である。参加者に東京や大阪までの旅費が提供できるか、全国各地で開催するための主催者への開催費支援があると機会を増やせる。

事業者団体調査(市民福祉団体全国協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等について、その名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
市民福祉団体全国協議会	介護保険の未来を語る	-	NPOなんでも文化祭:市民協1000万人の輪政策討論会「介護保険の未来を語る」～新政権を囲んで～石毛えい子議員・山崎康耶議員・コーディネーター:結城博運堂委員	-	-	-	78	-	-	-
	60歳からのいきいき人生!	-	「60歳からのいきいき人生!」第1部:講演「あなたの生きがいづくりへのヒント」市民協:田中尚輝 第2部:シニアのパワーを求めています!」NPOグループかけはし:田中小夜子 ~意見交換会:シニアサロン紹介~	-	-	-	70	-	-	-
	浜松の福祉を考える研修会	-	「浜松の福祉を考える研修会」①講演「地域福祉の現状と課題」浜松市福祉総務部・大田克彦・②講演「NPOと地域福祉」市民協:田中尚輝・③NPO活動報告とパネル討論:織田伸二・岸古光子・大野木里美・コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	30	-	-	-
	宅老所分科会	-	午前:宅老所分科会①宅老所ならではのサービス②宅老所の運営について:午後:講演「尊厳ある生き方～宅老所の役割」堀田力氏+パネル討論:厚労省:浅川・西田・近藤・コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	550	-	-	-
	介護保険の現状と今後	-	講演①「介護保険の現状と今後」厚生労働省:土生課長 講演②「大分県の介護保険の現状と今後」大分県福祉課長・③パネルディスカッション「居住施設系の運営のあり方」土生栄二・西田京子・斎藤節子・コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	211	-	-	-
	共生協働によるコミュニティビジネスについて	-	市民協鹿児島・年次総会と市民協研修会 講演「共生協働によるコミュニティビジネスについて」田中尚輝 意見交換会	-	-	-	30	-	-	-
	介護事業の成熟をめざす挑戦者	-	介護雇用管理改善推進委託事業 「介護事業の成熟をめざす挑戦者」 第一部:基調講演:田中尚輝、第二部:シンポジウム:パネリスト(医)社団慈恵会ひもろぎグループ:千葉善弘、NPO法人かたくりの会佐藤敬子、介護員ほか。	-	-	-	120	-	-	-
	新しい公・協働を考えるNPO事業運営フォーラム	-	新しい公・協働を考える「NPO事業運営フォーラム」講演「新しい公・協働に向かって何を期待するか」栃木県民文化部:池亀寛 パネルディスカッション:池亀寛・高橋克法・前田利一・コーディネーター:田中尚輝～意見交換～	-	-	-	86	-	-	-
	地域づくり研修会「あなたはそろそろ出番です!今地域は求めている!団塊の世代のゆとりと技	-	市民協・群馬…地域づくり研修会「あなたはそろそろ出番です!」今地域は求めている! 団塊の世代のゆとりと技 ①基調講演「コミュニティカフェがおもしろい」田中尚輝、②コミカフェおしゃべり合戦 NPO法人わたらせライフ:宮地豊高、NPO法人よるずや余之助:桑原三郎、田中尚輝	-	-	-	40	-	-	-
	福祉たすけあいフォーラム「認知症高齢者への現場の介護力」	-	第8回 福祉たすけあいフォーラム「認知症高齢者への現場の介護力」①講演「認知症高齢者の介護のあり方」柳務・②問題提起「市民セクターの役割」田中尚輝・③分科会 I・II・④介護保険とNPOへの期待」土生栄二	-	-	-	100	-	-	-
	より良い介護と福祉のまちづくり	-	テーマ:より良い介護と福祉のまちづくり ①講演「地域福祉とまちづくり」松浦真英 ②報告「NPOが目指す福祉のまちづくり」渡邊壽江ほか③パネル討論「サービスの質を向上させるために」・兼間道子・島津禮子・田中久江・渡邊壽江ほか・コーディネーター:田中尚輝 3/13(土)現地NPO視察研修～大崎上島の福祉施設～	-	-	-	50	-	-	-
	地域たすけあいフォーラムINみえ	-	地域たすけあいフォーラムinみえ「地域福祉の再構築にむけて」、①講演「地域包括ケアを担うインフォーマル・サービス」田中尚輝、②パネル討論「福祉有償運送のこれから」小出浩、更谷令治、真柄和也、山路秀雄、浜中佳芳子、コーディネーター:田中尚輝	-	-	-	46	-	-	-
	高齢者の在宅生活をサポートするコミュニティケアづくり	-	「高齢者の在宅生活をサポートするコミュニティケアづくり」講演「高齢者社会と住宅・コミュニティカフェ」田中尚輝、事例発表:大分県でのコミュニティカフェの実践事例の紹介、三輪 まどか氏(宮崎産業経営大学法学部講師)、地域でのふれ合いサロン活動 澤田 孝子氏(宮崎21高齢者福祉研究会 副理事長)、宅老所の実践活動	-	-	-	72	-	-	-
	コミュニティカフェが地域を支える	-	講演とシンポジウム「コミュニティカフェ」が地域を支える 講演:田中尚輝、松山市内で活躍のNPO法人こころ塾村つね氏、託老所あんき中矢 映美氏らとのディスカッション	-	-	-	110	-	-	-
福祉有償運送のネットワークを目指して	-	福祉有償運送のネットワーク化を目指して… 第一部:学習講演、「今、地域福祉の活動にもとめられていることは…」講師:田中尚輝 第二部:移動サービスの交流とネットワークづくり 1)活動報告:交流、2)ネットワークづくりのために	-	-	-	21	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
-	-	-